

予 算 款	08土木費	項	06港湾費	目	01港湾総務費			
事 業	50 港湾総務一般経費						予算書	
細事業	01 港湾総務一般経費						P. 119	
総合計画 計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			所 部	管 局	建設部/管理課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	1,511千円		1,514千円		△ 3千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
		1,181					330	
目的・ 趣旨	久美浜港湾の漂着ゴミ等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。							
事業 概 要 等	○久美浜港湾清掃業務委託料 久美浜港湾隣接地区へ委託 (葛野、長柄、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮地区)						1,254千円	
	○十楽埋立地管理委託料(草刈作業)						107千円	
	○協会負担金						150千円	
	全国海岸協会負担金						30千円	
	京都府海岸協会負担金						70千円	
	日本港湾協会負担金						50千円	
主な 財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金					1,181千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費			
事 業	02 消防本部総務業務						予算書	
細事業	01 消防本部総務業務						P. 119	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	14,216千円		8,770千円		5,446千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
							14,216	
目的・ 趣旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。							
事業 概 要 等	○旅費 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等						555千円	
	○交際費 ・消防長交際費						50千円	
	○需用費 ・事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具更新等						3,625千円	
	○役務費 ・電話料金、郵便料金等						1,608千円	
	・筆耕翻訳料						1,350千円	
	・仮眠寝具クリーニング代、各種申請料						5千円	
	・火災保険料						192千円	
	・火災保険料						61千円	
	○委託料 ・B型肝炎予防接種、健康診断委託料						995千円	
	○使用料及び賃貸料 ・コピー機、印刷機借上料、有料道路通行料等						627千円	
	○備品購入費 ・防火服						6,351千円	
	○負担金 ・全国消防長会会費、全国消防協会会費等						405千円	
主な 財源								

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	03 消防訓練・研修業務						予算書
細事業	01 救急救命士養成業務						P. 119
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
3,181千円		3,721千円		△ 540千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							3,181
目的・趣旨	医師の指示の下、救急車で救命処置ができる救急救命士及び気管挿管が実施できる認定救命士を計画的に養成し、救命率の向上を図る。						
事業概要等	<p>【平成30年度養成計画】</p> <p>救急救命士：1人 気管挿管認定救命士：1人（救急救命士対象） 病院研修：21人（救急救命士対象） 救急救命士数：26人（気管挿管認定救命士13人） ※平成30年1月末現在</p> <p>○旅費 290千円 ・救急救命士養成派遣（東京研修所）</p> <p>○委託料 520千円 ・救急救命士病院研修委託料</p> <p>○負担金 2,371千円 ・救急救命士養成負担金 2,071千円 ・気管挿管実習負担金 300千円</p>						
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	03 消防訓練・研修業務						予算書
細事業	02 消防学校等研修派遣業務						P. 119
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
3,785千円		4,013千円		△ 228千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							3,785
目的・趣旨	複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。						
事業概要等	<p>○旅費 1,892千円 ・消防大学校、京都府立消防学校専科等研修、研究会等 1,671千円 ・各種資格取得、講習会 221千円</p> <p>○委託料 42千円 ・バス運転委託料</p> <p>○使用料 72千円 ・有料道路通行料</p> <p>○負担金、補助金 1,779千円 ・消防大学校専科等研修、各種講習会等参加負担金 1,699千円 消防大学校研修派遣 1人 府立消防学校初任教育派遣 3人 府立消防学校各種専科（救急・救助等）教育派遣 13人 予防技術検定・潜水士受験料 3人 玉掛け、小型移動式クレーン資格取得 1人 無人航空機フライトオペレーター養成 1人 無線従事者養成 1人 二級小型船舶操縦士 1人 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能 1人 ・大型自動車免許取得補助金 80千円</p>						
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費			
事 業	04 予防・警防等業務						予算書	
細事業	01 予防・警防等業務						P. 119	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額				
5,665千円		6,362千円		△ 697千円				
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
					806	270	4,589	
目的・趣旨	<p>各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、防火チラシ・ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。 また、複雑多様化する各種災害における迅速かつ的確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。</p>							
事業概要等	<p>○予防関係経費 1,152千円 ・防火ポスター記念品代等 18千円 ・防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費 548千円 ・火災予防運動チラシ（年2回）、防火ポスター印刷代 200千円 ・通信運搬費 62千円 ・火災予防運動啓発物作成費 160千円 ・視聴覚教材DVD等購入費 164千円</p> <p>○警防関係経費 4,513千円 ・乾電池、ドローンバッテリー、備蓄食料費等 552千円 ・一日消防署長食事代 2千円 ・消防機械器具、水難救助備品等修繕費 730千円 ・高圧ガス容器等検査、消防ポンプ点検手数料等 437千円 ・ヘリポート草刈委託料 476千円 ・訓練用車両借上料 30千円 ・訓練用瓦礫費 50千円 ・消火、救助活動関係備品等購入費 2,236千円 （消防用ホース、空気ポンペ、水難救助潜水用具）</p>							
主な財源	手数料	消防手数料					806千円	
	諸収入	防火管理者資格取得講習料					270千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費			
事 業	05 救急業務						予算書	
細事業	01 救急活動業務						P. 119	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額				
6,801千円		6,476千円		325千円				
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
							6,801	
目的・趣旨	<p>救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。また、救命指示センターの医師との連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。</p>							
事業概要等	<p>平成29年救急出動件数 2,567件（前年比： 48件、1.9%増） 平成28年救急出動件数 2,519件（前年比：101件、4.2%増） 平成27年救急出動件数 2,418件（前年比： 8件、0.3%増）</p> <p>○救急管外搬送費 136千円 ○需用費 3,107千円 ・救急活動消耗品費 2,900千円 ・救急活動備品修繕費等 207千円 ○役務費 357千円 ・救急毛布クリーニング代、医療関係廃棄物処理手数料等 252千円 ・救急救命士賠償・消防業務賠償責任保険 105千円 ○委託料 2,725千円 ・救命指示センター委託料 1,457千円 ・高度救急医療資機材点検委託料 1,268千円 ○使用料 10千円 ・緊急車両有料道路通行料 ○備品購入費 346千円 ・高度救急処置訓練キット（静脈路確保困難モデル） ○負担金 120千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金</p>							
主な財源								

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費			
事 業	06 通信指令業務							予算書
細事業	01 通信指令業務							P. 119
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	25,017千円		27,691千円		△ 2,674千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
						24	24,993	
目的・趣旨	365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急要請を受ける通信指令システムを有効かつ的確に運用できるよう維持管理を行い、各種災害時に対応する。							
事業概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 41千円 <ul style="list-style-type: none"> ・音声吹込み謝金 ○需用費 1,747千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指令書出カプリンタートナー等消耗品費 475千円 ・指令システム定期保守交換部品代等 1,272千円 ○役務費 8,614千円 <ul style="list-style-type: none"> ・NTT回線使用料等 7,200千円 ・消防無線再免許申請手数料 628千円 ・消防無線法定検査手数料 786千円 ○委託料 14,048千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自家用電気工作物保安管理委託料 177千円 ・京都府防災情報システム保守業務委託料 60千円 ・聴覚障害者用緊急WEB通報システム運用委託料 648千円 ・通信指令施設等保守管理委託料 12,615千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 548千円 ○使用料 301千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電波利用料 ○負担金 266千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防救急デジタル無線基地局電気代負担金 							
主な財源	諸収入	西山中継局電源設備利用負担金					24千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費			
事 業	07 庁舎等維持管理事業							予算書
細事業	01 庁舎等維持管理事業							P. 119
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	18,878千円		18,983千円		△ 105千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
						148	18,730	
目的・趣旨	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等維持管理を行う。							
事業概要等	<p>消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両 19台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令車1台、広報車4台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防庁舎関係経費 10,785千円 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎管理消耗品費（清掃用品、蛍光灯等） 316千円 ・燃料費（灯油、LPガス等） 1,569千円 ・光熱水費（上下水道料金、電気料金等） 7,317千円 ・修繕費（重量シャッター、空調機器等） 669千円 ・ごみ持込処理手数料 16千円 ・庁舎清掃費、空調設備保守点検委託料等 579千円 ・清掃用具借上料 164千円 ・備品購入費（事務用椅子等） 155千円 ○車両関係経費 8,093千円 <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費（ガソリン、軽油等） 3,830千円 ・車検整備、修繕費 3,280千円 ・自動車登録手数料等 214千円 ・自動車損害保険料、自動車任意保険料等 391千円 ・自動車重量税 378千円 							
主な財源	使用料	公有財産使用料					148千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費																																																							
事 業	01 団員報酬・公務災害補償費等							予算書																																																				
細事業	01 団員報酬							P. 119																																																				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課																																																						
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額																																																							
	40,233千円		40,271千円		△ 38千円																																																							
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源																																																					
							40,233																																																					
目的・ 趣 旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。																																																											
事業 概 要 等	○消防団員報酬 実団員数 1,678人（平成30年4月1日見込み） 40,233千円																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>階 級</th> <th>年 額</th> <th>人 員</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 長</td> <td>189千円</td> <td>1人</td> <td>189千円</td> </tr> <tr> <td>副 団 長</td> <td>123千円</td> <td>3人</td> <td>369千円</td> </tr> <tr> <td>方 面 隊 長</td> <td>123千円</td> <td>6人</td> <td>738千円</td> </tr> <tr> <td>副方面隊長</td> <td>96千円</td> <td>6人</td> <td>576千円</td> </tr> <tr> <td>分 団 長</td> <td>96千円</td> <td>25人</td> <td>2,400千円</td> </tr> <tr> <td>副分団長</td> <td>57千円</td> <td>25人</td> <td>1,425千円</td> </tr> <tr> <td>指 導 員</td> <td>57千円</td> <td>25人</td> <td>1,425千円</td> </tr> <tr> <td>部 長</td> <td>43千円</td> <td>69人</td> <td>2,967千円</td> </tr> <tr> <td>班 長</td> <td>33千円</td> <td>153人</td> <td>5,049千円</td> </tr> <tr> <td>団 員</td> <td>19千円</td> <td>1,305人</td> <td>24,795千円</td> </tr> <tr> <td>支 援 団 員</td> <td>5千円</td> <td>60人</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>1,678人</td> <td>40,233千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※条例定数 1,730人</p>								階 級	年 額	人 員	金 額	団 長	189千円	1人	189千円	副 団 長	123千円	3人	369千円	方 面 隊 長	123千円	6人	738千円	副方面隊長	96千円	6人	576千円	分 団 長	96千円	25人	2,400千円	副分団長	57千円	25人	1,425千円	指 導 員	57千円	25人	1,425千円	部 長	43千円	69人	2,967千円	班 長	33千円	153人	5,049千円	団 員	19千円	1,305人	24,795千円	支 援 団 員	5千円	60人	300千円	合 計		1,678人	40,233千円
階 級	年 額	人 員	金 額																																																									
団 長	189千円	1人	189千円																																																									
副 団 長	123千円	3人	369千円																																																									
方 面 隊 長	123千円	6人	738千円																																																									
副方面隊長	96千円	6人	576千円																																																									
分 団 長	96千円	25人	2,400千円																																																									
副分団長	57千円	25人	1,425千円																																																									
指 導 員	57千円	25人	1,425千円																																																									
部 長	43千円	69人	2,967千円																																																									
班 長	33千円	153人	5,049千円																																																									
団 員	19千円	1,305人	24,795千円																																																									
支 援 団 員	5千円	60人	300千円																																																									
合 計		1,678人	40,233千円																																																									
主な 財 源																																																												

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費																			
事 業	01 団員報酬・公務災害補償費等							予算書																
細事業	02 公務災害補償費等							P. 119																
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課																		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額																			
	4,735千円		4,735千円		0千円																			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源																	
						200	4,535																	
目的・ 趣 旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員等に対し、公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練における防火防災訓練災害補償等制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。																							
事業 概 要 等	○消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,480千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が公務上と認められた場合に補償を行うための掛金																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市 民</td> <td>55,054人</td> <td>3.5円</td> <td>193千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>3,480千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※団員人数：平成29年10月1日現在の条例定数、人口：H27国勢調査人口</p>								区 分	人 数	1人当たり掛金	金 額	団 員	1,730人	1,900円	3,287千円	市 民	55,054人	3.5円	193千円	合 計			3,480千円
区 分	人 数	1人当たり掛金	金 額																					
団 員	1,730人	1,900円	3,287千円																					
市 民	55,054人	3.5円	193千円																					
合 計			3,480千円																					
	○防火防災訓練災害補償等共済掛金 55千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して、補償を行うための掛金																							
	○公務災害補償費 200千円 消防団員や地域住民が活動中に負傷した場合、京丹後市消防団員等公務災害補償条例に基づき、治療費を支給する。																							
	○消防団員自動車等損害見舞金 1,000千円 消防団活動に使用した私有自動車等が損害を受けた場合、見舞金を支給する。 上限額：1車両につき1,000千円 対 象：公務使用の消防団員（親族等含む）所有車両																							
主な 財 源	諸収入 消防団員公務災害補償金							200千円																

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費		
事 業	02 団員退職報償金					予算書	
細事業	01 団員退職報償金					P. 121	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部/総務課	管 局	
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	33,216千円		33,216千円		0千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							33,216
目的・ 趣旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。						
事業 概要 等	○消防団員退職報償金掛金 条例定数 1,730人 × 19,200円 (平成29年10月1日現在)						33,216千円
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費		
事 業	03 消防団活動運営事業					予算書	
細事業	01 消防団活動運営事業					P. 121	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部/総務課	管 局	
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	118,118千円		110,176千円		7,942千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							118,118
目的・ 趣旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。						
事業 概要 等	○消防団運営活動費（団員数1,678人 平成30年4月1日見込み） 本部、分団、部、指導員、ラッパ隊、女性団員、支援団員、 車両・ポンプ管理						54,461千円
	○団員出動警戒手当、訓練手当 出動、警戒手当1,600円/回、訓練手当1,500円/回						27,541千円
	○操法大会訓練謝金・開催経費ほか（市・府大会等）						6,247千円
	○消防学校入校、視察研修等経費						1,984千円
	○出初式開催経費（定例団員表彰・感謝状、会場借上等）						2,302千円
	○辞令交付式開催経費						375千円
	○活動服、編上靴、水利標示板等消耗品						3,277千円
	○消防団協力事業所表示証						23千円
	○消防自動車管理経費 87台（修繕料、燃料費、保険料等）						15,256千円
	○火の用心ステッカー						51千円
	○消防車庫、防火水槽等管理経費（光熱水費、土地代、保険料等）						2,860千円
	○消防ポンプ点検手数料						435千円
	○消防用ホース購入代						2,200千円
	○多機能型消防車両AED更新（3台）						800千円
	○京都府消防協会京丹後市支部負担金						255千円
	○その他経費（ホース・消火栓器具・消火器等処分費等）						51千円
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費			
事 業	04 消防設備維持管理事業							予算書
細事業	01 消防設備維持管理事業							P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
本年度予算額		前年度予算額			増 減 額			
17,524千円		17,519千円			5千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
							17,524	
目的・趣旨	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて簡易水道事業特別会計及び水道事業会計へ繰り出すもの。							
事業概要等	○簡易水道事業特別会計繰出金		1,972基×5,400円/基		10,649千円			
	○水道事業会計繰出金		1,273基×5,400円/基		6,875千円			
	【消火栓設置数】							
		簡易水道地域	上水道地域	合 計				
	峰 山 町	7基	451基	458基				
	大 宮 町	200基	299基	499基				
	網 野 町	223基	383基	606基				
	丹 後 町	239基	140基	379基				
	弥 栄 町	354基	0基	354基				
	久美浜町	949基	0基	949基				
	合 計	1,972基	1,273基	3,245基				
主な財源								

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費			
事 業	01 常備消防施設等整備事業							予算書
細事業	01 常備消防施設等整備事業							P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
本年度予算額		前年度予算額			増 減 額			
43,336千円		79,764千円			△ 36,428千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
	13,766		29,300				270	
目的・趣旨	災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、老朽化した消防ポンプ自動車の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。							
事業概要等	○消防ポンプ自動車及び資機材の更新整備							43,336千円
	配備先：網野分署 ※車両購入後14年経過							
	・消防ポンプ自動車 1台							43,148千円
	・自動車登録手数料							94千円
	・自動車リサイクル手数料							12千円
	・自動車損害保険料							16千円
	・自動車重量税							66千円
主な財源	国補	防衛施設周辺対策事業補助金					13,766千円	
	市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）					29,300千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	02 非常備消防施設等整備事業						予算書
細事業	01 消防車両整備事業						P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
49,691千円		38,651千円		11,040千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
		5,500	43,500				691
目的・ 趣 旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。						
事業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○消防車両 <ul style="list-style-type: none"> ・多機能型小型動力ポンプ付積載車 2台 25,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 峰山第2分団第3部（安） ※車両購入後19年経過 網野第3分団第2部（住吉） ※車両購入後28年経過 ・多機能型消防ポンプ自動車 1台 24,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 峰山第1分団第1部（峰山南） ※車両購入後26年経過 ○OAED 1台 峰山第1分団第1部（峰山南） 300千円 ○自動車登録手数料 152千円 ○自動車リサイクル料 31千円 ○自動車損害保険料 101千円 ○自動車重量税 107千円 						
主な 財源	府補 市債	地域防災力総合支援事業補助金 消防自動車整備事業債（過疎対策債）					5,500千円 43,500千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	02 非常備消防施設等整備事業						予算書
細事業	02 消防車庫等整備事業						P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
17,143千円		2,816千円		14,327千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
			16,100				1,043
目的・ 趣 旨	消防団組織見直しにより、峰山第2分団第3部（峰山町安）に新たに多機能型小型動力ポンプ付積載車を配備するため、消防車庫を建設するもの。						
事業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨造平家建、延床面積：41㎡ 整備場所：吉原グラウンド（峰山町安・峰山第2分団第3部） ○工事請負費 16,000千円 ○工事監理委託料 940千円 ○建築確認手数料 154千円 ○水道工事等手数料 3千円 ○水道加入分担金 46千円 						
主な 財源	市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）					16,100千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	04 消火栓整備事業					予算書	
細事業	01 消火栓設置事業					P. 121	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部/総務課	管 局	
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	13,628千円		20,584千円		△ 6,956千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
			12,300			972	356
目的・ 趣 旨	火災発生時に最も身近で有効な消火栓の設置を進めるため、緊急度及び地域の実情を考慮し整備する。						
事業 概 要 等	○消火栓工事（26基）				13,328千円		
	新設	地上式	1基				
	工事の支障に伴う移設	地上式	1基				
	老朽化に伴う更新	地上式	3基				
	水道工事に伴う更新	地下式	15基				
		地上式	2基				
	下水道工事に伴う更新	地下式	4基				
	○消火栓修繕料				300千円		
	緊急対応する必要がある簡易な修繕に対応						
主な 財源	諸収入	消火栓移設補償金				972千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）				12,300千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	04 消火栓整備事業					予算書	
細事業	02 消火栓ホ ーツ等整備事業					P. 121	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部/総務課	管 局	
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	3,000千円		3,000千円		0千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							3,000
目的・ 趣 旨	消火栓の新設に伴い消火栓ボックス（格納庫）を設置するとともに、地区要望等による老朽化した消火栓備品を更新するもの。						
事業 概 要 等	○消火栓ボックス等備品				3,000千円		
	品 名		数量				
	屋外型ホース格納箱（スチール製）		40台				
	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）		35台				
	消火栓用ホース		160本				
	管そう（ストレートノズル）		35本				
	消火栓開閉ハンドル（地上式用）		10本				
	消火栓開閉ハンドル（地下式用）		15本				
	スタンドパイプ（地下式用）		30本				
主な 財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費			
事 業	50 消防施設一般経費							予算書
細事業	01 消防施設一般経費							P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	消防本部/総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	1,371千円		1,734千円		△ 363千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
							1,371	
目的・趣旨	消防活動を円滑に行うため、消防資機材、車庫及び消防水利等の維持管理を行う。							
事業概要等	○消防資機材の整備及び消防施設の維持補修経費							1,371千円
	・小西川可動堰電気代							63千円
	・消防簡易デジタル無線局電波利用料							167千円
	・峰山第2分団第2部消防車庫（管）等修繕							1,141千円
主な財源								

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費			
事 業	01 防災会議運営事業							予算書
細事業	01 防災会議運営事業							P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	管 局	新 旧	総務部/総務課 企画総務部/総務課	
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
	222千円		222千円		0千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源	
							222	
目的・趣旨	災害対策基本法に基づく京丹後市防災会議の開催及び運営に係る経費							
事業概要等	○防災会議委員報酬（委員24人、うち民間委員16人） 4,000円×16人×3回							192千円
	○費用弁償（3回分）							30千円
主な財源								

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費		
事 業	02 防災行政無線維持管理事業						予算書
細事業	01 防災行政無線維持管理事業						P. 121
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	新 旧	総務部/総務課 企画総務部/総務課	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
33,197千円		35,332千円		△ 2,135千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
						20,000	13,197
目的・趣旨	防災行政無線の保守点検、修繕等の維持管理経費						
事業概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○無線従事者養成講習会受講経費（1人分） （旅費、免許申請手数料、講習会受講料） 58千円 ○業務委託経費 24,661千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保守点検業務 22,039千円 ・戸別受信機設置撤去業務 2,622千円 ○維持管理経費 3,392千円 （回線使用料、設備保険料、電波利用料、草刈委託料、電柱共架料、土地借上料） ○戸別受信機用アンテナ等購入費 704千円 ○屋外拡声子局等修繕費 950千円 ○屋外拡声子局等電気代 3,288千円 ○防災行政無線西山中継局電気代負担金（京都府施設使用） 144千円 						
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金					20,000千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費										
事 業	03 防災行政無線施設整備事業						予算書								
細事業	01 防災行政無線施設整備事業						P. 121								
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	新 旧	総務部/総務課 企画総務部/総務課									
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額											
380,000千円		0千円		380,000千円											
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源								
			380,000				0								
目的・趣旨	アナログ式である峰山町及び網野町の防災行政無線をデジタル式へ移行するほか、中継局やJアラート等の関連設備の更新を行い、確実な情報伝達手段の確保を図る。														
事業概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○防災行政無線峰山町・網野町デジタル化工事 380,000千円 <p>平成30年度から平成31年度の継続費を設定し、平成30年度では網野町域分を実施する。</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>380,000</td> <td>269,000</td> <td>649,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業内容（全体）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外拡声子局 81局（峰山町33局、網野町48局） ・戸別受信機 約5,000世帯 ・中継局 4基（西山、小桑、崇山、栃谷中継局） ・操作卓 1基 ・Jアラート受信機 1基 ・既設アナログ無線設備撤去 								平成30年度	平成31年度	合 計	事業費	380,000	269,000	649,000
	平成30年度	平成31年度	合 計												
事業費	380,000	269,000	649,000												
主な財源	市債	防災行政無線整備事業債（緊急防災・減災事業債）				380,000千円									

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費	
事 業	50 災害対策一般経費					予算書
細事業	01 災害対策一般経費					P. 123
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	新 総務部/総務課 旧 企画総務部/総務課	
	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額			
	10,910千円	10,689千円	221千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他 一般財源
					4,000	6,910
目的・趣旨	<p>災害時に備えて、防災用機器等の維持管理等を行うとともに、非常食や避難所生活用資材等の災害備蓄品の整備を行う。 また、自主防災組織の育成や防災訓練の実施など、地域と連携した防災体制の強化を推進する。</p>					
事業概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時対応職員時間外勤務手当 2,000千円 ○普通旅費、会議開催経費（講師謝金、費用弁償） 196千円 ○災害用備蓄資材 3,500千円 （アルファ米11,500食、水11,500本、災害支部用救急用品6セット、毛布200枚、仮設ルーム1個、避難所用間仕切り30セット、おむつ89袋、女性用衛生用品48袋等） ○地域防災計画印刷製本費（200部） 1,500千円 ○災害時避難者対応経費（食糧費、毛布クリーニング代） 83千円 ○冠水警報・雨量観測装置等維持管理経費 184千円 （電気代、電話代、土地借上料、保守管理委託料等） ○箱石防災備蓄倉庫維持管理経費 193千円 （電気代、火災保険料、消防設備保守点検委託料） ○漂着物処理手数料（容器内容物検査、処理手数料） 90千円 ○京都府防災情報システム保守業務委託料 498千円 ○災害本部会議用テレビ会議システム使用料 324千円 ○災害対策用物資（備蓄品運搬用台車、消耗品等） 902千円 ○防災関連団体等負担金、アマチュア無線クラブ局電波利用料 60千円 ○自主防災組織補助金 1,380千円 （防災資機材購入経費の1/2以内、上限80千円補助） 					
主な財源	繰入金 災害対策基金繰入金					4,000千円

予 算 款	10教育費	項	01教育総務費	目	01教育委員会費	
事 業	50 教育委員会一般経費					予算書
細事業	01 教育委員会一般経費					P. 123
総合計画 計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			所 管 局	教育委員会事務局/教育総務課	
	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額			
	4,080千円	4,072千円	8千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他 一般財源
						4,080
目的・趣旨	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている教育委員会の委員活動や研修等に係る経費</p>					
事業概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員報酬及び費用弁償等（4人） 3,595千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 3,528千円 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員 月額 72,000円×12月×4人 教育委員 月額 72,000円×1月×1人（委員任期交代分） ・費用弁償 67千円 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会（定例会、臨時会、協議会、総合教育会議） 27回 ○教育委員視察研修等費用 122千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 83千円 ・公用車燃料代 9千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 30千円 ○丹後地方教育委員会連合会負担金 358千円 ○消耗品費等 5千円 <ul style="list-style-type: none"> 参考図書、教育委員バッジ 					
主な財源						